

オンリーワン徳島行動計画（第二幕）

取組結果評価シート

基本目標6 「"みんなが" とくしま」の実現

「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」取組結果評価シート

基本目標6 「“みんなが、とくしま”の実現

【達成度】達成:1, ほぼ達成:2, 未達成:3, 実績値なし:-

【評価】A, B, C

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見	
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価
		単位	H19	H20	H21	H22			

6-1 “みんなが、とくしま”体制づくり

1 ユニバーサルデザインの推進 ●「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の普及・啓発及び適切な運用を図ることにより、地域に暮らすすべての人が暮らしやすいまちづくりを推進します。		推進	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の普及・啓発及び適切な運用を図ることにより、地域に暮らすすべての人が暮らしやすいまちづくりを推進した。 シルバー大学校やNPO法人の活動を通じ、県民の方々に条例の周知を行い、県民・事業者・行政が一体となったユニバーサルデザインによるまちづくりに努めた。 ユニバーサルデザイン未来リーダー育成講座を実施し、小学生にユニバーサルデザインによるまちづくりの普及を図った。 県HP「ユニバーサルデザインの推進について」で、ユニバーサルデザインの普及や条例の運用を図った。 平成21年7月1日からパーキングパーミット(身体障害者等用駐車場利用証)の交付申請の受付を開始し、歩行困難者の方々に配慮した環境づくりを推進した。 	保健	A	
2 男女共同参画の推進 ●「徳島県男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画の様々な施策を積極的に推進します。		推進	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 計画の県民への積極的な広報・啓発をホームページ等を活用して推進するとともに、拠点施設として整備した男女共同参画交流センター(平成18年11月1日開館)を最大限に活用し、市町村、県民等と協働して、男女共同参画施策を推進した。 	県民	A	
●「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」に基づき、配偶者からの暴力防止や被害者の保護を図るための施策を積極的に推進します。		推進	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 「配偶者からの暴力に関する相談機関等連絡会議」を開催し、現状や対策についての意見交換を行うとともに役割に応じた施策を適切に推進するなど、関係機関が連携し、計画に基づき施策を推進した。 	県民	A	
3 高齢者対策の推進 ●新しい「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画(とくしま長寿プラン)」を策定し、豊かな長寿社会づくりのため高齢者施策を推進します。		推進	策定・推進	推進	→	<ul style="list-style-type: none"> 住み慣れた地域で安心して暮らし、ふれあいや生きがいのある生活を送ることができる地域づくりを目指して、新計画を21年3月に策定。計画の進行管理を行うとともに、豊かな長寿社会づくりのための高齢者施策を推進した。 	保健	A	「人生三桁時代」の到来も身近に感じられ、これからは「支えられる存在」から「社会を元気にする存在」を目指した社会づくりが求められる。こうした背景から、生涯にわたり健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる「豊かな長寿社会づくり」を目指した新たな「とくしま長寿プラン(平成21年~23年)」が策定され、シルバー大学校・大学院における学習機会の提供をはじめとする高齢者の生きがいづくりや健康づくりとともに、ニーズに応じた介護サービスの提供が行われるなど、順調に推進されている。A評価とした。
459	新しい「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」の策定・推進 <H20> 策定・推進	☺	策定・推進	推進	推進	1 21年3月に策定、計画の進行管理を行うとともに、豊かな長寿社会づくりのための高齢者施策を推進した。	保健	A	順調に推進されているため、A評価とした。
4 障害者対策の推進 ●「新徳島県障害者施策長期計画」「徳島県障害福祉計画」に基づき、障害者施策の総合的かつ計画的な推進を図り、障害者の地域での自立を支援します。		推進	策定・推進	推進	→	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年3月に策定した、障害者自立支援法に基づく「徳島県障害福祉計画」及び障害者基本法に基づく「新徳島県障害者施策長期計画」を平成21年3月に改定し、障害者施策の総合的かつ計画的な推進を図った。 	保健	A	
460	「徳島県障害福祉計画」の改定・推進 <H20> 「徳島県障害福祉計画」の改定・推進	☺	改定・推進	推進	推進	1 21年3月に改定、計画に基づき、障害者施策を総合的に推進した。	保健	A	(目標を達成しているためA評価とした)

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見		
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
5 外国人が住みやすいまちづくりの推進 ●県内在住の外国人が地域社会の構成員として共生する多文化共生社会を目指し、本県の実情に対応した取り組みを推進するための基本指針等を策定します。			制定	推進	→	→	1	商工	A	(目標を達成しているためA評価とした)
458	とくしま国際フレンドシップ憲章の制定 <H20>制定		制定	推進	推進	推進				
6 こども・女性対策の一体的な推進 ●児童虐待及び配偶者からの暴力等が大きな社会問題となっている状況にかんがみ、新たに中央・南部・西部に「こども女性相談センター」を設置するなど、圏域ごとに「こども」と「女性」に関わる様々な問題にワンストップで対応できる体制整備を推進します。					推進	→	1	保健	A	
						児童虐待及び配偶者からの暴力に関する相談等への一体的対応能力の強化を図るため、新たに中央・南部・西部に「こども女性相談センター」を設置し、圏域ごとに「こども」と「女性」に関わる様々な問題の解決を支援した。				

6-2 男女共同参画立県とくしまづくり

1 拠点施設における男女共同参画の推進 ●「男女共同参画交流センター」を核として、総合的かつ計画的に男女共同参画を進めます。			推進	→	→	→	1	県民	A	男女共同参画交流センター（フレアとくしま）において「フレアとくしま100講座」と題した各種講座や講演会、相談業務など多くの県民が利用している。A評価とした。
463	「男女共同参画交流センター」利用者数（累計） <H17>- → <H22>200,000人	人	57,858	101,258	155,025	212,189				
2 女性の政策・方針決定過程への参画の促進 ●政策・方針決定過程への女性の参画を促進するため、県審議会委員等の女性の登用を引き続き進めます。			推進	→	→	→	2	県民	A	徳島県では、県の審議会等への女性登用については全庁を挙げて取り組んでおり、女性委員の割合は3年連続全国1位となっており、戦略会議においても、委員14人中8人が女性であるため、A評価とした。 (附帯意見) これからは、比率あわせで登用するより、審議の活発化という観点に軸足を置くべきだと思う。
461	県審議会等に占める女性の割合 <H15>25.0% → <H22>50%	%	41.4	43.6	45.3	48.4				

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 （進捗・達成状況、成果、今後の方針）	部局	委員意見		
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）						達成度	評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
●県庁女性職員の県政運営への参画を推進します。			推進	→	→	→	企画	A		
						<p>・平成16年4月に策定した「徳島県女性職員の登用等に関する計画」に基づき、女性職員に多様な職務経験を付与するとともに、研修の機会を充実し、意欲と能力のある女性職員の育成・登用を推進した。</p> <p>・部長級、課長級等の管理職への登用、重要課題を担当する本庁係長や主要出先機関の係長への登用を行い、女性職員の能力の一層の活用に努めた。</p> <p>○女性役付職員数<H19>145人<H20>150人<H21>169人<H22>230人（参考）</p> <p>・役付職員全体数<H19>1,814人<H20>1,761人<H21>1,737人<H22>1,793人</p> <p>・内男性役付職員数<H19>1,669人<H20>1,611人<H21>1,568人<H22>1,563人</p> <p>・平成22年度の長期派遣研修として、文化庁、厚生労働省などに4名、自治大学校へ2名の計6名の女性職員を派遣した。</p>				
464	女性役付職員数 <H15>96人 → <H22>200人	人	<H22>195	<H22>200	<H22>200	<H22>200	1	企画	A	（目標を達成しているのでA評価とした）
3 人材の育成 ●専門家や起業家など様々な人材の育成を図るため、講座等を実施します。			実施	→	→	→	県民	A		
						<p>・男女共同参画交流センターにおいて平成19年度から実施している「フレアとくしま100講座」の中で男女共同参画を推進するための講座を実施し、多くの県民が受講した。</p> <p>○「フレアとくしま100講座」参加者数（累計）<H22>41,792人</p>				
465	「フレアとくしま100講座」参加者数（累計） <H17>- → <H22>28,000人	人	<H22>10,000	<H22>10,000	<H22>20,000	<H22>28,000	1	県民	A	（目標を達成しているのでA評価とした）
●農業経営における個人の地位及び役割を明確にします。			推進	→	→	→	農林	A		
						<p>・農業支援センター等を通じ、家族経営協定の締結に向けての支援を行った。</p> <p>○家族経営協定締結数<H22>940戸</p>				
466	家族経営協定締結数 <H17>587戸 → <H22>920戸	戸	<H22>750	<H22>750	<H22>850	<H22>920	1	農林	A	（目標を達成しているのでA評価とした）
4 普及・啓発の推進 ●県民の理解と認識を深めるため、講演会やセミナーを開催するなど、普及・啓発を推進します。			推進	→	→	→	県民	A		
						<p>・男女共同参画交流センターを活用し、「フレアとくしま100講座」として講演会、セミナーを開催し、県民に対する普及・啓発を図った。</p> <p>○「フレアとくしま100講座」開催数（累計）<H22>620件</p>				
467	「フレアとくしま100講座」開催数（累計） <H17>- → <H22>500件	件	<H22>400	<H22>400	<H22>400	<H22>500	1	県民	A	（目標を達成しているのでA評価とした）

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				達成度	取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見	
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）							評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
	5 配偶者等からの暴力対策の推進 ●配偶者等からの暴力の防止や被害者の救済と自立支援を図るため、関係機関等との連携強化や「配偶者暴力相談支援センター（DVセンター）機能」の充実を図るほか、民間団体の活動を支援し、協働して地域における支援活動の充実に取り組みます。また、若年層を対象とした「デートDV防止セミナー」などを行います。		推進	→	→	→	・「配偶者からの暴力に関する相談機関等連絡会議」を開催し、相談機関相互の連携・情報交換等を図るとともに、DV被害者自立支援民間団体活用事業やDV被害者支援スペシャリスト養成セミナーなどを実施し、民間団体の活動を支援するとともに配偶者暴力相談支援センター機能の充実に努めた。 ・若年層を対象とした「デートDV防止セミナー」を1県立中学校、延べ25県立高校、延べ6大学で実施し、DVの予防に努めた。	保健 県民	A	
	6 女性が働きやすい「ワーク・ライフ・バランス」の展開 ●地域の企業や事業所の応援による子育て支援運動を推進するとともに、関西等で実施されている同種事業との相互利用ができるよう広域的な取り組みを進めます。		推進	→	→	→	・子育て家庭が親子でともに過ごす時間を増やし、子育てや生活と仕事のバランスを見直すための取組である「Go!Go!くつき隊応援事業」を実施し、地域の企業や事業所の応援による子育て支援運動を推進した。 ・22年度においては、県民の方の利便性の更なる向上を目指し、四国及び関西地域との広域連携を推進した結果、22年度末で25,423事業所で利用が可能となった。 ○「Go!Go!くつき隊応援隊」県内協賛店舗等数<H22>25,423事業所	保健	B	〔数値目標（「Go!Go!くつき隊応援隊」協賛店舗等数 目標17,000 実績25,423）は達成しているが、目標の設定の仕方において、平成22年度は四国及び関西地域が対象ということで、17,000店舗を目標に、平成21年度までは県内の800店舗を目標にしていた。現時点での県内店舗数は、646店舗ということとを考慮し、B評価とした。〕
468	「Go!Go!くつき隊応援隊」協賛店舗等数 <H17>- → <H22>17,000事業所	事業所	<H22>800	<H22>800	<H22>800	<H22>17,000	22年度においては、県民の方の利便性の向上のため、四国及び関西地域との広域連携も推進を積極的に進めた結果、22年度末で25,423事業所での協賛が得られた。	保健	A	(目標を達成しているためA評価とした)
	●県内事業所による一般事業主行動計画の策定・届出を促進することにより、仕事と子育て等が両立するための環境整備を進めます。		推進	→	→	→	・300人以下の労働者を雇用する事業所における一般事業主行動計画の策定・届出を促進するため、事業所訪問により計画の策定・届出について要請等を行うとともに、労使・一般県民を対象とした次世代育成支援に関するセミナーの開催やリーフレット等の作成・配布を行った。 ○一般事業主行動計画策定・届出件数（300人以下の事業所）<H18>44事業所 → <H22>391事業所	商工	A	
469	一般事業主行動計画策定・届出件数(300人以下の事業所) <H17>22事業所 → <H22>220事業所	事業所	<H22>150	<H22>150	<H22>150	<H22>220	企業訪問や手引きの作成等の周知啓発に取り組んだことにより、順調に推移し、目標を達成した。	商工	A	(目標を達成しているためA評価とした)
	●事業所における事業所内保育施設の設置等に係る課題解決を支援することにより、仕事と子育て等が両立できる環境整備を進めます。				推進	→	・設置に関心のある企業に対し検討会を開催するとともに、アドバイザーを派遣して、設置における課題解決を支援した。	商工	A	
	●仕事と家庭の両立ができる職場づくりなどに積極的な企業等を認証、表彰することにより、企業等における次世代育成の取り組みを促進します。		推進	→	→	→	・一般事業主行動計画を策定し仕事と家庭の両立ができる職場環境に積極的に取り組んでいる企業等を県が認証するとともに、その中で特に優れた取り組みを行っている企業を表彰した。 ○「はぐくみ支援企業」認証件数（累計）<H18>- → <H22>102事業所 ○「はぐくみ支援企業」表彰件数（累計）<H18>10事業所 → <H22>59事業所	商工	B	
462	「はぐくみ支援企業」認証件数（累計） <H17>- → <H22>100事業所	事業所				100	企業訪問や周知広報に取り組んだことにより、順調に増加し、目標を達成した。	商工	A	(目標を達成しているためA評価とした)
			25	46	84	102				

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				達成度	取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見	
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）							評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
470	「はぐくみ支援企業」表彰件数（累計） 〈H17〉→ → 〈H22〉80事業所	事業所				80	3 周知広報に取り組んだことにより、順調に増加したが、目標は達成できなかった。	商工	C (目標が未達成なのでC評価とした)	
			23	37	54	59				

6-3 高齢者いきいき「生涯現役」とくしまづくり

1 地域福祉のリーダーの養成 ●高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう能力の再開発を援助するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成します。			順次拡大	→	→	→	・高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう能力の再開発を援助するとともに、地域福祉を推進するリーダーを養成。 ○シルバー人材バンク（生きがいづくり推進員）の登録者数（累計）〈H22〉718人 ○シルバー大学院における資格取得者数（累計）〈H22〉592人 ○「シルバー大学院」ICT講座入学者数〈H22〉80人	保健	A	地域福祉を推進するリーダーである「生きがいづくり推進員」やシルバー大学院における資格取得者などが着実に増加していることからA評価とした。
471	シルバー人材バンク（生きがいづくり推進員）の登録者数（累計） 〈H17〉90人 → 〈H22〉500人	人				500	1 シルバー大学校、大学院開講事業の取り組みにより、順調に登録者数が増加。 22年度においては、活動の場づくりのため登録者の整理を行った。	保健	A	目標を達成しているため、評価はAとした。
			362	476	599	718				
473	シルバー大学院における資格取得者数（累計） 〈H17〉60人 → 〈H22〉400人	人	〈H22〉300	〈H22〉300	〈H22〉300	〈H22〉400	1 シルバー大学校、大学院の開講事業の取り組みにより、順調に資格取得者数が増加している。	保健	A	目標を達成しているため、評価はAとした。
			267	356	465	592				
472	「シルバー大学院」ICT講座入学者数 〈H17〉25人 → 〈H22〉75人	人			75		1 21年度に、南部校で5名、西部校で15名、それぞれ入学者を増員したことにより、平成22年度においても目標値を達成。	保健	A	目標を達成しているため、評価はAとした。
			50	60	80	80				
●地域の高齢者パワーのより積極的な活用等を図り、合わせて本県の様々な魅力の発信等を促進するため、シルバー大学院のサテライト講座を推進します。			開設	推進	→	→	・高齢者が地域においてより積極的に活躍され、併せて本県の様々な魅力の発信等を促進するため、シルバー大学院のサテライト講座として、四国観光検定講座を平成19年度から開設。平成21年度は「四国観光検定講座」が廃止されたことから「とくしま観光講座」をサテライト講座として実施 平成22年度も同様に「とくしま観光講座」をサテライト講座として実施。 (実施等箇所：徳島市、勝浦町)〈H22〉12月18日、1月15日、2月26日、3月12日、3月26日	保健	A	
474	シルバー大学院のサテライト講座の開設 〈H19〉開設		開設				1 22年度は「とくしま観光講座」をサテライト講座として実施	保健	A	(目標を達成しているためA評価とした)
			開設	推進	推進	推進				

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）					取組状況 （進捗・達成状況、成果、今後の方針）	部局	委員意見	
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）				達成度			評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
2 「徳島県健康福祉祭」によるスポーツ・文化活動の推進 ●県健康福祉祭の充実により、高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図ります。			推進	→	→	→	3	保健	B	
475	県健康福祉祭に参加しているスポーツ及び文化交流競技団体に登録している高齢者数 〈H17〉7,000人 → 〈H22〉9,000人	人	8,016	7,393	6,962	6,980				
3 就業機会の確保・増大等 ●働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業の機会の確保・提供を行い、高齢者の生きがいを高めるとともに、地域社会の活性化を図ります。			順次拡大	→	→	→	3	商工	B	〔数値目標（「シルバー人材センター」の就労延日人員数 目標57万人 実績51万人）は未達成であるが、経済環境の悪化等で就労実績が減少したことなどを考慮し、B評価とした。〕
476	「シルバー人材センター」の就労延日人員数 〈H17〉49万人 → 〈H22〉57万人	万人	54	53	50	51				
●中高年齢者の就業を総合的に支援するため、「とくしまジョブステーション」において、求人情報の提供や職業相談等を実施します。			実施	→	→	→	3	商工	C	〔併設のハローワークなど関係機関と連携を図りながら、中高年齢者の就職支援に取り組まれたが、数値目標（とくしまジョブステーションを活用した中高年齢者の就職件数 目標280、実績179）には遠く及ばず、経済環境の悪化も影響していると思われるものの、成果不足と言わざるを得ないため、C評価とした。〕
477	とくしまジョブステーションを活用した中高年齢者の就職件数（累計）【再掲】 〈H17〉102人 → 〈H22〉280人	人	156	165	172	179				
4 介護サービスの人材育成 ●介護サービスの公平で円滑な提供を図るため、介護支援専門員の人材養成を図ります。			推進	→	→	→	1	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした） （附帯意見） 目標数値5000人の意味あいは何なのか。法的基準か、全国平均か。他の数値目標にも言えることだが、分かりにくいので意味あいを明示していくべき。
478	介護支援専門員の養成者数（累計） 〈H17〉3,987人 → 〈H22〉5,000人	人	4,473	4,703	4,972	5,224				

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 （進捗・達成状況、成果、今後の方針）	部局	委員意見		
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）						達成度	評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
	●介護サービス従事者の研修等を通じ、介護サービスの質の向上を図ります。		推進	→	→	→		保健	A	
479	介護サービス従事者の研修参加者 <H19>～<H22>研修参加者3,000人/年	人/年	年2,000人 3,750	年2,000人 4,010	年2,000人 4,394	年3,000人 3,622	1	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）
	5 高齢者の身体機能に応じた住宅改修等の推進 ●要援護高齢者等が住み慣れた自宅で安心して生活が継続できるよう、高齢者等の身体機能に応じた住宅改修等の推進を図ります。		推進	→	→	→		保健	A	
480	高齢者等住宅改修等給付（助成）件数 <H19>～<H22>給付（助成）件数12,000件	件				12,000 12,376 速報値	1	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）
	6 高齢者虐待の相談窓口の設置 ●高齢者に対する虐待を防止し、高齢者の尊厳の保持を図るため、虐待防止に向けた普及啓発を図ります。		推進	→	→	→		保健	A	

6-4 障害者「自立と社会参加」のとくしまづくり

	1 障害福祉サービスの充実 ●障害児のいる家庭が安心して子育てできるよう、「障害者自立支援法」の制度見直し予定の平成20年度まで、障害児施設の利用者負担の軽減を図ります。		実施	→				保健	A	
481	障害児自立支援に向けた利用者負担の軽減 <H18>負担軽減 → <H20>負担軽減			負担軽減			1	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）
	●障害者の福祉の向上を図るため、障害の種別にかかわらずサービス提供体制を充実します。		順次育成	→	→	→		保健	B	数値目標（指定サービス提供事業所の指定件数目標680実績686）は達成しているが、指定件数の全国状況（35位）を考慮し、B評価とした。
483	指定サービス提供事業所の指定件数 <H17>- → <H22>680事業所	事業所	<H22> 550	<H22> 550	<H22> 650	<H22> 680	1	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）
	●障害福祉サービスを充実するための人材を養成します。		順次育成	→	→	→		保健	B	

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見			
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価	特記事項	
		単位	H19	H20	H21						H22
484	サービス管理責任者研修の受講者数（累計） <H17>- → <H22>600人	人	<H22> 470	<H22> 470	<H22> 470	<H22> 600	1	障害者相談支援センターで実施。障害者自立支援法の周知により、受講者数は目標を達成することができた。	保健	A	(目標を達成しているためA評価とした)
485	相談支援従事者研修の受講者数（累計） <H17>676人 → <H22>1,500人	人				1,500	2	障害者相談支援センターで実施。障害者自立支援法の周知により、ほぼ目標達成することができた。	保健	B	(目標をほぼ達成しているためB評価とした)
●障害者が住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、居宅サービスの充実を図ります。			推進	→	→	→		・障害者が地域で安心した生活を送れるための居宅サービスを充実するため、日常生活の各種支援策を図った。 ○補助犬の登録頭数（累計）<H22>13頭	保健	B	数値目標（補助犬の登録頭数 目標14 実績13）は、ほぼ達成しており、主要事業についても、B評価とした。
486	補助犬の登録頭数（累計） <H17>9頭 → <H22>14頭	頭				14	2	NPO法人ボランティアドッグ育成センター及び(財)徳島の盲導犬を育てる会等と連携し実施しており、周知に努め、ほぼ目標を達成した。	保健	B	(目標をほぼ達成しているためB評価とした)
2 障害者の社会参加の推進 ●「障害者交流プラザ」を活用し、障害のある人もない人もスポーツや芸術・文化活動等を通じて、社会参加と交流を推進し、地域社会で生きがいを実感できる仕組みづくりを推進します。			推進	→	→	→		・障害者の自立と社会参加の促進に向けた障害者の活動と交流の拠点として整備した、「障害者交流プラザ」を活用し、障害の有無に関わりなく、スポーツや文化芸術活動など利用の促進に努めた。 ○「障害者交流プラザ」の利用者数（累計）<H22>599,176人	保健	A	障害者の活動と交流の拠点として整備された障害者交流プラザを活用して、延べ約60万人の人がスポーツや文化芸術活動などを通じて、障害者の自立や社会参加の促進に繋がっていることからA評価とした。
487	「障害者交流プラザ」の利用者数（累計） <H17>- → <H22>500,000人	人				500,000	1	障害の有無に関わらず、利用者は順調に伸びており、目標を達成した。引き続き指定管理者と連携し周知に努めていく。	保健	A	目標の50万人を大きく超える約60万人の利用者数であるためA評価とした。
●障害者が社会参加する際に必要な、移動手段を支援するための施策を推進します。			推進	→	→	→		・障害者がスポーツや文化活動等各種イベントに参加する際の移動手段の確保に努めた。 ○「ふれあい徳島号（リフト付きバス）」の利用人数（累計）<H22>7,927人	保健	A	
488	「ふれあい徳島号（リフト付きバス）」の利用者数（累計） <H19>~<H22>8,000人	人				8,000	2	障害者団体等の各種イベントの移動手段として活用いただき、利用者は順調に伸びており、ほぼ目標を達成した。	保健	B	(目標をほぼ達成しているためB評価とした)
●全国障害者芸術・文化祭を開催し、障害者の社会参加を促進します。							開催	・障害者が「芸術・文化活動」を通じて、生活を豊かにする契機として、また、誰もが障害への「理解と認識」を深める「徳島ならではの大会」として、平成22年12月に開催した。	保健	A	
489	第10回全国障害者芸術・文化祭とくしま大会の開催 <H22>開催		☺	☺	☺	開催	1	平成22年12月、全国から約1万2千人の来場者を迎え、成功裡に終了した。	保健	A	(目標を達成しているためA評価とした)

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見		
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
3 障害者の自立と地域生活への移行の支援 ●障害者に対し総合的な支援を行うための相談支援体制を充実します。		順次育成	→	→	→	1	保健	B		
490	指定相談支援事業所の指定件数 <H17>- → <H22>50事業所	事業所	43	47	47	47	2	保健	B (目標をほぼ達成しているのでB評価とした)	
491	障害児に対する療育相談件数 <H17>1,789件 → <H22>2,500件	件	1,709	1,982	2,238	2,977	1	保健	A (目標を達成しているのでA評価とした)	
●障害者の働く意欲と能力に応じて働ける社会づくりを推進するため、就労訓練施設の生産品の販路拡大などによる就労支援機能の強化により、施設利用者の工賃のアップを図り、自立支援を推進します。		推進	→	→	→	3	保健	A	障害者の方々が働く場である授産施設（就労施設）等の製品の販路拡大を図られ、工賃が平成20年度、21年度については全国3位と立派な順位にある。総合評価はAとした。	
482	障害者施設利用者の工賃（月額） <H17>約14,000円 → <H22>約21,000円	円	16,132	16,987	17,327	19,115	3	保健	C 数値目標（障害者施設利用者の工賃。平成22年度実績19,115円）は、目標数値（約21,000円）に届かず、C評価とする。 〔工賃は平成17年度に既に14,000円あったため、これを控除すると73.1%となる〕	
●障害者に対する地域生活や就労について、より一層の支援を図るため、地域共同作業所の指定障害福祉サービス事業者への移行を推進します。		推進	→	→	→	3	保健	B	〔小規模作業所は、指定事業者の指定基準（人員、設備等）を満たすことが困難なため、移行へのハードルが低い地域活動支援センターへの移行の方が適当ということで、26作業所が同センターに移行しており、一定の成果が認められるため、B評価とした。〕	
492	地域共同作業所の指定事業者への移行件数（累計） <H17>- → <H22>30件	件	4	5	7	7	3	保健	C (目標が未達成なのでC評価とした)	
●障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施するとともに、障害者雇用を促進するための憲章や具体的な施策を示した「障害者雇用促進行動計画」に基づき、事業主をはじめ広く県民の意識啓発を図るなど、障害者の職業的自立を支援します。（再掲）		推進	→	→	→	→	→	商工	B	・障害者の職業的自立を支援するため、障害者の職業訓練、職場適応訓練等を行うとともに、障害者雇用を促進するために策定した「とくしま障害者雇用促進憲章」、「とくしま障害者雇用促進行動計画」に基づき、シンボルマークの決定や知事表彰などに取り組んだ。 ○民間企業の障害者雇用率<H19>1.49%<H20>1.53%<H21>1.61%<H22>1.67%

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見			
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価	特記事項	
		単位	H19	H20	H21						H22
493	「障害者雇用促進憲章（又は条例）」の制定【再掲】 <H19>制定		制定 (憲章)				1	平成19年12月に「とくしま障害者雇用促進憲章」を制定し、目標を達成した。	商工	A	(目標を達成しているためA評価とした)
494	民間企業の障害者雇用率【再掲】 <H17>1.41% → <H22>法定雇用率以上	%				法定雇用率以上	3	労働局など関係機関と連携し、障害者雇用を促進するための啓発活動や障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施したことなどにより、障害者雇用率は4年連続で上昇し、ほぼ全国平均(1.68%)と肩を並べるところまでになったが、目標は達成できなかった。	商工	C	目標が未達成なのでC評価とした 法定雇用率は1.8%だが、平成17年度に既に1.41%あったため、これを控除すると66.7%となる
4 高次脳機能障害者への支援 ●高次脳機能障害者に対する機能訓練や地域生活等に関する相談機能等の充実を図るため、関係者による支援ネットワークの構築を図ります。			検討・準備	→	→	構築		<ul style="list-style-type: none"> ・県民に対して新しい障害（高次脳機能障害）への理解を図るための研修会を開催し、啓発に努めるとともに、地域で交流会を実施することにより地域における課題の共有や支援体制の整備を図った。 <H22>参加者(保健所/研修会7回683名、交流会1回/12名) ・関係者等を対象に専門研修会を開催し、相談支援技術の向上と地域支援ネットワーク構築のための検討を行った。 <H22>参加者(精神保健福祉センター/研修会1回122名、ネットワーク準備会/1回15名) ・高次脳機能障害の専門相談の支援拠点機関において徳島大学病院の協力により連携会議等を実施し、関係者のスキルアップを進めてきたが、新たに精神保健福祉センターが中心になり、地域における支援ネットワークのあり方について検討した。 ・高次脳機能障害家族会の活動に対して協力を行った。 	保健	C	数値目標（高次脳機能障害者への支援ネットワークの構築）では、平成22年に支援ネットワークの構築との目標であるが、現時点（23年11月）においてもいつ構築できるか未定である。研修会や大学病院等との連携会議等を開催するなど努力はされているが、成果不足と言わざるを得ないことから、C評価とした。
495	高次脳機能障害者への支援ネットワークの構築 <H22>構築					構築	3	徳島大学等との連携・協力の基に専門相談の実施及び精神保健福祉センターを中心に研修会を開催することで、高次脳機能障害についての正しい理解と地域支援ネットワークの基盤ができつつある。また、高次脳機能障害家族会が結成され家族交流の場が拡大している。	保健	C	(目標が未達成なのでC評価とした)
5 発達障害者への支援 ●発達障害者（児）の自立と社会参加の促進を図るため、「発達障害者支援センター」の充実強化をはじめとした支援体制や各種施策を推進します。			推進	→	→	→		<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害児（者）とその家族等に対する地域における総合的な支援の拠点として、平成18年4月に県立あさひ学園内に設置した「発達障害者支援センター」において、発達障害に関する相談や研修等の支援を行った。 ○「発達障害者支援センター」の相談件数（累計）<H22>2,466件 	保健	A	
496	「発達障害者支援センター」の相談件数（累計） <H17>- → <H22>2,000件	件				2,000	1	18年4月に県立あさひ学園内に設置した「発達障害者支援センター」において、相談・研修等による支援を行っている。発達障害に関する相談件数も年間400件を超えており、発達障害児（者）に対する地域における支援の拠点として定着してきている。	保健	A	(目標を達成しているためA評価とした)

6-5 共助・共生のまちづくり

1 ひとり暮らし高齢者等支援ネットワークの推進 ●ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らすために、「地域包括支援センター」を中心とするひとり暮らし高齢者等支援ネットワークの設置を支援します。			推進	→	→	→		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らすために、地域包括支援センターを中心とするひとり暮らし高齢者等支援ネットワークの設置を支援した。 ○ひとり暮らし高齢者等支援ネットワークの設置率<H22>100% 	保健	A	一人暮らし高齢者ご本人やそのお年寄りのご近所の方、またケアマネジャーなどから地域包括支援センターが相談を受け付け、対応する体制が構築されており、高齢者等支援のネットワークも100%設置されているため、A評価とした。
--	--	--	----	---	---	---	--	--	----	---	---

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）					取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見		
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）				達成度			評価	特記事項	
		単位	H19	H20	H21						H22
499	「ひとり暮らし高齢者等支援ネットワーク」の設置率 〈H17〉— → 〈H22〉100%	%				100	1	地域包括支援センターへの指導、研修を通じて、ネットワーク支援に取り組んだ結果、目標を達成した。	保健	A	地域包括支援センターを通じ、行政、医療機関、民生委員、介護サービス事業者などで構成するネットワークを100%配置されているためA評価とした。
2 認知症高齢者に対する支援等の推進 ●地域の住民が認知症について理解し、地域全体で認知症高齢者を支えていくための支援体制の推進を図ります。			推進	→	→	→		・地域の住民が認知症について理解し、地域全体で認知症高齢者を支えていくための支援体制を推進。 ○認知症サポーター数（累計）〈H22〉13,198人	保健	B	数値目標（認知症サポーター数 目標10,000 実績13,198）は達成しているが、認知症サポーター数の全国状況（35位）を考慮し、B評価とした。
500	認知症サポーター数（累計） 〈H17〉— → 〈H22〉10,000人	人	〈H22〉5,000	〈H22〉5,000	〈H22〉8,000	〈H22〉10,000	1	県、市町村が養成したキャラバンメイトを中心として、各地域で認知症サポーター養成講座が開催され、順調に認知症サポーターが養成された。	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）
3 介護予防に重点を置いた健康づくりの推進 ●介護予防の普及啓発や介護予防リーダーの養成など、介護予防に重点を置いた健康づくりを推進します。			推進	→	→	→		・介護予防に重点を置いた健康づくりを推進するために、介護予防リーダーの養成を図る。そのため、介護予防リーダーの養成研修を県内4カ所（徳島市、阿南市、美馬市、三好市）で開催した。 ○介護予防リーダーの養成者数（累計）〈H22〉550人	保健	A	
497	介護予防リーダーの養成者数（累計） 〈H17〉— → 〈H22〉400人	人				400	1	県内4カ所で介護予防リーダー養成研修を実施	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）
4 障害者のコミュニケーション支援体制の充実 ●障害者のコミュニケーション手段を確保するため、手話・点訳等の専門的知識・技能を有する各種ボランティアの育成や県民への理解と普及を促進します。			推進	→	→	→		・障害者の社会参加を促進するためのコミュニケーション支援体制を整備するため、手話・点訳等に携わるボランティアの育成に努めた。 ○県登録手話通訳者数〈H22〉54人	保健	C	聴覚障害の方々が、安心して暮らせる社会を実現するためには、コミュニケーション手段を確保する必要があると思われる。そのためには、必要な手話通訳者の確保が欠かせない。手話通訳者のスキルアップ研修など手話の資質向上に取り組まれ、これも大事な事だと思いが、まずある程度の人数が必要である。数値目標の「県登録手話通訳者数」は目標に大きく届いていないため、厳しいながらC評価とした。
501	県登録手話通訳者数 〈H17〉46人 → 〈H22〉75人	人				75	3	手話通訳を必要とするユーザーから、全体的なレベルアップを求める強い要望があり、合格基準の見直しを行ったため、目標達成には至らなかったものの、手話通訳士が8→15人へ増加し、永年登録者数29→44人に増加し、質の向上が図られた。	保健	C	目標の75人に大きく届かないためC評価とした。
5 障害者のスポーツ活動等の推進 ●障害者のスポーツ・レクリエーション活動や生きがいづくりの支援強化を推進します。			推進	→	→	→		・障害者のスポーツやレクリエーション参加を促進するため、障害者スポーツ指導員等を登録することにより、地域で開催されるスポーツイベント等の促進を図った。 ○人材バンク活用による障害者スポーツ指導員の派遣件数（累計）〈H22〉353件	保健	A	
498	人材バンク活用による障害者スポーツ指導員の派遣件数（累計） 〈H17〉— → 〈H22〉200	件				200	1	ゼロ予算事業を活用し、(財)とくしまノーマライゼーション促進協会に人材バンクを設置し、利用促進に努め、目標を達成した。	保健	A	（目標を達成しているためA評価とした）

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見		
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
	6 人と動物がともに暮らせる地域づくり ●人と動物がともに暮らせる、うるおいと喜びのある地域づくりを推進するため、「動物愛護推進協議会」を設置し、動物の愛護及び適正な飼養を推進する団体、動物愛護推進員を支援します。		設置・推進	推進	→	→	保健	A		
	●動物の愛護及び適正飼養にかかる普及啓発を図るため、地域リーダーとなる「動物愛護推進員」の委嘱を進めます。		推進	→	→	→				保健
502	「動物愛護推進員」委嘱数 <H17>- → <H22>50人	人	0	31	39	39	3	保健	C	(目標が未達成なのでC評価とした)

6-6 ユニバーサルデザインとくしまづくり

	1 「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の推進 ●「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」の普及・啓発及び適切な運用を図ることにより、地域に暮らすすべての人が暮らしやすいまちづくりを推進します。		推進	→	→	→	1	保健	A	ユニバーサルデザインの普及・啓発のため、まちづくりやものづくりの先駆的・モデル的な取り組みをされた個人や団体を表彰することは大変有効な方法である。行政も、率先して公園などの公共施設をユニバーサル化し、県民の皆さんに利用していただくことも重要ではないかと思われる。また、パーキングパーミットについては、2,754人の歩行困難な方々に利用証を交付されているが、制度についても、さらに普及・啓発をお願いし、誰もが理解される制度にしていきたいことから、A評価とした。
503	ユニバーサルデザイン表彰数（累計） <H17>- → <H22>30件	件	7	16	22	33				
505	パーキングパーミット（身体障害者等用駐車場利用証）の交付 <H21>交付開始		☺	☺	交付開始		1	保健	A	目標を達成しているので、評価はAとした。
			-	-	交付開始	2,754				
	2 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進 ●「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づくユニバーサルデザイン点検・評価を行い、公共施設の改善や公共事業1件1UDの取り組み等、ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進します。		推進	→	→	→	1	県土	A	「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づくユニバーサルデザイン点検・評価を行い、公共施設の改善や公共事業1件1UDの取り組みによるユニバーサルデザインによるまちづくりを推進した。 ・平成19年度に新規供用開始した月見が丘海浜公園、南部健康運動公園を除く、既存の6県営都市公園においてユニバーサルデザイン化に着手した。 ○ユニバーサルデザイン化着手都市公園数<H22>6公園

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）					取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見	
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）				達成度			評価	特記事項
		単位	H19	H20	H21					
506	ユニバーサルデザイン化着手都市公園数 <H17>- → <H22>6公園	公園				6	1	県土	A	(目標を達成しているためA評価とした)
			2	2	3	6				
3 公共施設等の整備 ●中山間地域の幅員狭小な道路において、待避所整備に加え、「対向車接近表示システム等」を設置することにより通行の安全性、快適性を確保します。			推進	→	→	→	1	県土	B	数値目標（対向車接近表示システム等設置箇所数 目標20 実績20）は達成しているが、中山間地域の幅員の狭小な道路はたくさんあり、安全性や快適性を確保するためには、かなりの数の対向車接近表示システムを設置する必要があると思われることから、B評価とした。
507	対向車接近表示システム等設置箇所数 <H17>- → <H22>20箇所	箇所				20				
			16	17	18	20				
●電線類の地中化や段差のない歩道等の整備を推進します。			推進	→	→	→	1	県土	B	数値目標の電線類を地中化した県管理道路の延長、幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率は達成しているが、整備を必要とする箇所はまだあると思われるので、B評価とした。
508	電線類を地中化した県管理道路の延長【再掲】 <H17>7.0% → <H22>8.5%	km				8.5				
			8.5	8.5	8.5	8.5				
509	幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率 <H17>62% → <H22>73%	%				73	1	県土	A	(目標を達成しているためA評価とした)
			70	71	73	78				
●JR徳島駅周辺の重点整備地区等において、特定道路となる県管理道路のバリアフリー化を推進します。			推進	→	→	→	2	県土	B	(目標をほぼ達成しているためB評価とした)
510	県管理の特定道路のバリアフリー化率 <H17>15% → <H22>100%	%				100				
			15	28	37	88				
●藍場町地下駐車場（第1駐車場）にエレベーター等を設置するとともに、あわぎんホール（郷土文化会館）への雨よけつきの歩行路を整備し、利用者の利便性向上を図ります。				整備	併用	→	1	企業	A	(目標を達成しているためA評価とした)
511	藍場町地下駐車場のエレベーター数 <H19>1基 → <H21>2基	基	0		2					
			1	1	2	2	整備工事を実施し、平成21年8月に供用を開始した。			

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見			
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）						達成度	評価	特記事項	
		単位	H19	H20	H21						H22
	●ユビキタス社会の実現に向け、あらゆる人が自立して「安全」に、「安心」して、「自由」に移動することが可能な社会基盤の調査・研究を進めます。		推進	→	→	→	1	県土	A		
	4 公共交通機関の整備促進 ●路線バス事業者に対し、ノンステップバス導入の支援を行います。		推進	→	→	→	1	県土	A		
504	ノンステップバス（路線バス）の台数 <H17>43台 → <H22>75台	台	<H22>69	<H22>69	<H22>69	<H22>75	1	県土	A	(目標を達成しているためA評価とした)	
	5 外国人が住みやすいまちづくり ●相談窓口の充実、生活支援講座の開設、市町村と連携した多言語による情報提供等を行います。		推進	→	→	→	1	商工	A		
512	相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人人数 <H17>2,573人 → <H22>4,000人	人	3,293	3,406	3,623	4,635	4,000	1	商工	A	(目標を達成しているためA評価とした)
	●在県外国人に対して生活相談等に応じる専門ボランティアの養成を行うとともに、ボランティア、支援団体、行政機関による外国人支援のためのネットワークを形成します。		推進	→	→	→	1	商工	A		
513	外国人支援ボランティア養成講座の参加者等 <H17>196人 → <H22>300人	人	196	264	331	330	300	1	商工	A	(目標を達成しているためA評価とした)

6-7 活力みなぎるとくしまづくり

	1 移住・交流施策の推進 ●移住等に関する情報・魅力発信を行うため、地域の実情に柔軟に対応し、地域の創意工夫が活かせる総合的な支援を行う組織・体制「移住交流支援センター」の整備などを推進し、県と市町村が連携・協働した積極的な移住・交流の促進を図ります。		順次拡大	→	→	→	1	県民	A	東京や大阪にある県外事務所において、徳島県への移住の相談やPRを行うとともに、県人会等で移住ガイドブックを配布するなど、移住等の情報発信に努められている。また「ふるさと回帰フェア」などにも積極的に参画し、市町村とも連携して取り組まれており、上勝町や神山町等の取り組みは新聞等でも取り上げられている。実績は非公式ながら四国トップクラスということでA評価とした。 (附帯意見) 移住交流センターの設置が目標となっているが、それよりもソフト的なサポートやサービスが重要なポイントと思う。
--	---	--	------	---	---	---	---	----	---	--

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見			
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）						達成度	評価	特記事項	
		単位	H19	H20	H21						H22
514	「移住交流支援センター」の設置地域数 <H17>- → <H22>10地域	地域	6	7	8	10	1	・移住希望者に対する地域の受け入れ態勢の充実が図られた。	県民	A	目標通り10地域で設置されているのでA評価とした。
●「とくしまアグリテクスノスクール」の充実に加え、県下各地でも農業が学べる「地域あぐりシステム」を整備します。			推進	→	→	→		・「とくしまアグリテクスノスクール」では、就農準備講座などを実施し、新規就農者の農業技術習得支援を行った。 ・「地域あぐりシステム」については、整備予定であった7か所すべてに整備している。 ○「とくしまアグリテクスノスクール」受講者数<H22>494人 ○「地域あぐりシステム」設置箇所数<H22>7箇所	農林	A	
515	「とくしまアグリテクスノスクール」受講者数 <H17>173人 → <H22>500人	人	419	427	384	494	2	積極的に講座を開くことにより、おおむね目標を達成した。	農林	B	(目標をほぼ達成しているのでB評価とした)
516	「地域あぐりシステム」設置箇所数 <H17>- → <H22>7箇所	箇所	7	7	7	7	1	整備予定である7か所すべてに整備できた。	農林	A	(目標を達成しているのでA評価とした)
●全国的な県人会ネットワークなどを活用し、徳島県の豊かな自然・文化や暮らしの情報を積極的に発信するとともに、団塊の世代の移住へのきっかけづくりとするため、市町村と連携し、ふるさとに気軽に一定期間滞在して、ふるさとの暮らしや地域の魅力を体感してもらうことにより、団塊の世代の定住促進につなげます。			推進	→	→	→		・移住交流の促進に向け、全国徳島県人会連合会を核とし、各地の県人会と連携し、意見交換会の開催や各種情報提供を行った。	企画 県民	A	
●大学や旅行会社と連携し、県外のシニア世代を対象とした、徳島の自然・文化・産業などを直に感じてもらうための集中講座を開催します。			検討	実施	→	→		・NPOと大学との連携により、平成20年7月に開催した。	企画	A	
517	県外シニア世代対象の「徳島学」夏期講座の開催 <H20>開催		検討	開催	-	-	1	NPOと大学との連携により平成20年7月に開催した。	企画	A	(目標を達成しているのでA評価とした)
2 NPO・ボランティアとの連携強化 ●NPO・ボランティア活動との連携強化などにより、地域住民の主体的活動を促進し、「参加と協働」の下、個性豊かで活力ある地域づくりを進めます。			順次拡大	→	→	→		・「徳島県社会貢献活動の促進に関する条例」の普及・啓発、とくしま県民活動プラザにおける社会貢献活動団体の総合的な支援を通じて、県民の参加と協働による地域づくりを推進。 ○ボランティア・アドプト登録人口<H22>143,179人	県民	A	
518	ボランティア・アドプト登録人口【再掲】 <H17>135,238人 → <H22>140,000人	人	139,289	142,936	143,025	143,179	1	社会貢献活動への参加形態の多様性により伸び幅は大きくないものの、着実に増加した。	県民	A	(目標を達成しているのでA評価とした)

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 （進捗・達成状況、成果、今後の方針）	部局	委員意見					
番号	数値目標	数値目標（上段：目標、下段：実績）						達成度	評価	特記事項			
		単位	H19	H20	H21						H22		
3 規制緩和を活用した地域づくり ●既存の規制や制度にとらわれない地域発案の個性的な地域づくりを応援します。		推進	→	→	→	1	企画	A					
519	構造改革特区・県版特区・地域再生計画数（累計） 〈H17〉22件 → 〈H22〉33件	件	〈H22〉30	〈H22〉30	〈H22〉30					〈H22〉33	地域発案の「特区制度」や「地域再生計画」の周知を図り、個性的な地域づくりを支援した結果、38件の計画が認定された。	A	（目標を達成しているためA評価とした）
4 活気あるむらづくり ●耕作放棄地の防止や活気ある農山漁村づくりに向けた地域ぐるみの共同活動や中山間地域の集落協定により、農村集落や農地・農業用水の保全を推進します。		順次拡大	→	推進	→	3	農林	B	全国的な状況だが、高齢化等による耕作放棄地は年々増加の一途をたどり、平成22年には約4,400ヘクタール余りにもなっている。こうした中で、中山間地域の農業生産の維持等を図り、農業用水路の浚渫や農業用施設の補修など地域ぐるみで共同して実施されている。B評価とする。				
520	「中山間地域等直接支払制度」に取り組んだ集落協定数 〈H17〉639協定 → 〈H21〉670協定	協定	656	656	656					539	市町村を対象とした事業説明会を実施し、推進を図ったが、高齢化の進展により、5年間農業生産活動を継続することへの不安が大きいこと等から、目標数値をやや下回った。	C	目標に達せず、C評価とした。 集落協定数は平成17年度に既に639協定あったが、平成22年度は、これよりも減じている
521	農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組んだ活動組織数 〈H17〉— → 〈H22〉100組織	組織	104	104	104					104	活動組織や関係者等を対象に事業説明会等を開催し、目標を達成した。	A	目標を達成しているため、評価はAとした。
●農山村地域において、生産基盤と生活環境を総合的に整備することで活気あるむらづくりを実施します。		推進	→	→	→	2	農林	B					
522	生産基盤と生活環境が一体的に整備された地区数（累計） 〈H17〉87地区 → 〈H22〉99地区	地区	〈H22〉95	〈H22〉95	〈H22〉95					〈H22〉99	平成22年度完了予定の1地区（川島）を加え、計98地区において整備が完了し、目標はほぼ達成された。	B	（目標をほぼ達成しているためB評価とした）
●住民自らの発想・提案に基づいた事業を柔軟かつ迅速に実施し、農山漁村地域の創意工夫を反映し、地域支援機能の発揮を図ります。		推進	→	→	→		農林	A					

主要事業名・事業概要		●工程（年度別事業計画）				取組状況 (進捗・達成状況、成果、今後の方針)	部局	委員意見			
番号	数値目標	数値目標（上段:目標、下段:実績）						達成度	評価	特記事項	
		単位	H19	H20	H21						H22
523	公募型メニューにより事業に取り組んだ実施主体数（累計） 〈H17〉— → 〈H22〉130件	件	<H22> 80	<H22> 80	<22> 130	<H22> 130	1	計画を審査し、地域振興の見込まれる事業に対し補助を行った。	農林	A	(目標を達成しているためA評価とした)
			74	98	111	144					
	●四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズムを推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、高速道路新料金を活用した徳島の農山村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。				推進	→		・四国グリーン・ツーリズム推進協議会において「四国グリーン・ツーリズム八十八ヶ所マップ」の作成・配布や都市部での交流イベントで情報発信を行ったほか、自然体験活動等の指導者を育成する研修会を開催し、グリーン・ツーリズムの推進を図った。 ○グリーン（ブルー）・ツーリズムインストラクター数〔累計〕〈H22〉42人 ○とくしま農林漁家民宿数（累計）〈H22〉7軒	農林	A	
524	とくしま農林漁家民宿数（累計） 〈H20〉4軒 → 〈H22〉6軒	軒	☺	☺	☺	6	1	県単でとくしま農林漁家民宿村モデル事業を実施し、目標を達成した。今後も更に農林漁家民宿数を増やすよう推進する。	農林	A	(目標を達成しているためA評価とした)
			—	4	5	7					
5	魅力ある地域づくりの推進 ●市町村が地域住民と協働で実施する地域の個性を生かした魅力ある地域づくりを支援します。	創設・運用		→	→	→		・市町村が地域住民と協働等で実施する、地域の個性を生かした魅力ある地域づくりを推進するため、「地域創造モデル事業交付金」の交付による支援を行い、地域の個性を活かした地域づくりの促進を図った。	県民	A	
525	地域創造モデル事業交付金制度 〈H19〉創設	創設					1	19年7月に「地域創造モデル事業交付金制度」を創設し、21年度まで3ヶ年にわたって運用した。	県民	A	(目標を達成しているためA評価とした)
		創設・運用		運用	運用	—					
	●「ふるさと納税制度」の導入を機に、県内外に「ふるさと徳島」の魅力を一層アピールするとともに、県出身者など本県ゆかりの方々との連携をさらに強化し、活力と魅力あふれる徳島づくりを進めます。			推進	→	→		・「ふるさと”OURとくしま”応援事業」によりいただいた寄附金を「ふるさと徳島の魅力を高め、全国に発信する事業」として、「とくしま自転車王国プロジェクト」などに活用した。	企画	A	